

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

国語

科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～C組

教科担当者：（A組：保倉）（C組：保倉）

使用教科書：（大修館書店『論理国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。	文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。	身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配当時数	
		話	聞	書						
1学 期	A単元 共同体のいま 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 家族化するペット ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	12
	定期考査					○	○	○	1	
	B単元 日本語の多様性 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 敬語への自覚、他者への自覚 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	13
2学 期	定期考査					○	○	○	1	
	C単元 思考の枠組み 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 スキーマと記憶 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	14

定期考查						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
	D単元 思考の枠組み 【知識及び技能】現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覺を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 山月記 ・一人1台端末の活用 等	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覺を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
定期考查						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
	E単元 社会の原点 【知識及び技能】現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覺を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 分かち合う社会 ・一人1台端末の活用 等	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覺を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
定期考查						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

教科：国語 科目：教養国語

国語

単位数：2 単位

科目 教養国語

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：（保倉）

使用教科書：

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 教養国語

の目標：

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】				
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配当時数
		話	聞	書					
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	○	○	○	4
単元 漢字の音訓について 【知識及び技能】 ・漢字の成り立ちを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の文化的な背景を理解し、自分で新しい漢字を作成するなど表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	○	○	○	8
定期考查						○	○	○	1
単元 ことわざ・故事成語 【知識及び技能】 ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、作者の感覺や、作者の人物像をとらえようとしている。	○	○	○	5

1学
期

	<p>単元 文章表現 【知識及び技能】 ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、歌に込められた心情や恋愛、結婚のあり方をとらえようとしている。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	9
	定期考查					○ ○ ○ 1
2 学期	<p>単元 一般常識 【知識及び技能】 ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識及び技能】 ・常用漢字を使用し、読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、場面ごとの人物の心情の変化をとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、人物の心情の変化を理解しようとしている。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	16
	定期考查					○ ○ ○ 1
	<p>単元 短歌・俳句・現代用語について 【知識及び技能】 ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材 一人1台端末の活用 等 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、歌に込められた心情や恋愛、結婚のあり方をとらえようとしている。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	14
	定期考查					○ ○ ○ 1

3 学 期	単元 敬語 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・漢文から現代に生きる言葉や考え方について理解しようとしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
	単元 日本語を使いこなす 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・「蛇足」から現代に生きる言葉や考え方について理解しようとしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8
	単元 ディベート 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・作品や文章に表れているもの感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・自然や人生をうたった漢詩に興味をもち、表現の特徴を理解しようとしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5
	定期考查						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1

計 78

年間授業計画 新様式

足立 高等学校 令和7年度（3学年用）教科

教科：地理歴史 科目：地理総合

対象学年組：第 3 学年 A・C 組

教科担当者：（A組：志賀） （C組：志賀）

使用教科書：（高校生の地理総合 帝国書院）

教科 地理歴史 の目標：

地理歴史 科目 地理総合

単位数： 2 単位

【知識 及び 技能】 世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的もとらえて基礎的知見を得る。

【思考力、判断力、表現力等】 上記で獲得した基礎的知見を、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】 上記をふまえて、現代に通曉する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化する。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的もとらえて基礎的知見を得る。	左記で獲得した基礎的知見を、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的に考察する。	左記をふまえて、現代に通曉する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1 学期	A 単元 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 【知識及び技能】 地図や地理情報システムの種類や見方、利用の仕方について、必要な知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 地図から各地域が抱える課題を抽出し、洞察する力を養成する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記で抽出した課題を自分の問題として自覚化し得る力をつける。 定期考査	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 地図について種々の知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 地図から各地域の課題を抽出し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 抽出した各地域の課題を自分の問題として考察し得たか。	○	○	○	8
	B 単元 結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 国家間の結びつきの契機と要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家間の結びつきのきっかけや原因を多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国家間の結びつきの中における日本の位置を自覚化する。	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国家間の結びつきについてきちんと知識が定着したか。 【思考・判断・表現】 国家間の結びつきについて多角的に考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 国家間の結びつきの中における日本の位置について自分の問題として自覚化できたか。	○	○	○	11
	C 単元 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の地形・気候と人々の生活について知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 地形と気候がいかに人々の生活を規定するのかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地形と気候がもたらす事柄を自分のこととして認識する。 定期考査	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界の地形・気候と人々の生活についての知識を獲得できたか。 【思考・判断・表現】 世界の地形・気候と人々の生活の連関性を理解し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地形・気候が人々の生活にもたらす影響を知り、自分をとりまく環境に思いをめぐらすことができたか。	○	○	○	6
	D 単元 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活 【知識及び技能】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の産業・宗教・民族・言語がいかに人々の生活を規定するかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活の関係性を知り、自分をとりまく世界に思いを致す。	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活の知識を獲得できたか。 【思考・判断・表現】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活の連関性を理解し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活についての学びを、自分をとりまく世界に自覚化できたか。	○	○	○	10
	E 単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題について、人口問題・食料問題・都市問題等の諸問題の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 人口問題・食料問題・都市問題等がどのように問題化するのかを考察する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題・食料問題・都市問題等を自分をとりまく問題として自覚化する。 定期考査	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人口問題・食料問題・都市問題等の諸問題がいかに地球的課題になっているかについて知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 人口問題・食料問題・都市問題等の要因・現状・未来展望について考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題・食料問題・都市問題等の解決策について自分の問題として自覚化し得たか。	○	○	○	8
	F 単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題について、感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の諸問題の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等がどのように問題化するのかを考察する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等を自分をとりまく問題として自覚化する。 定期考査	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の諸問題がいかに地球的課題になっているのかについて知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の要因・現状・未来展望について考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の解決策について自分の問題として自覚化し得たか。	○	○	○	13
	G 単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題について、感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の諸問題の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等がどのように問題化するのかを考察する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等を自分をとりまく問題として自覚化する。	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の諸問題がいかに地球的課題になっているのかについて知識を獲得し得たか。	○	○	○	1
	H 単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題について、感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の諸問題の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等がどのように問題化するのかを考察する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等を自分をとりまく問題として自覚化する。	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の諸問題がいかに地球的課題になっているのかについて知識を獲得し得たか。	○	○	○	1

3 学 期	E 単元 持続可能な地域づくりと私たち 【知識及び技能】日本の自然環境とそれがもたらす災害について知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】日本の自然環境と災害の連関性を考察できる力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】日本の自然環境と災害の連関性から防災対策を自分の問題として自覚化する。 定期考査	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】日本の自然環境とそれがもたらす災害について知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】日本の自然環境と災害の連関性を考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】日本の自然環境と災害の連関性をふまえて防災対策を自分の問題として自覚化し得たか。 ○ ○ ○ 9
	F 単元 気象灾害・自然災害と防災 【知識及び技能】気象災害や自然災害の種類と防災についての知識を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】気象災害や自然災害にどのような備えができるのかを考察する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】気象災害や自然災害を自分の問題として自覚化する。	・指導事項 地図帳や教科書に沿った知識・課題 ・教材 プリント教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】気象災害や自然災害の種類と防災について知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】気象災害や自然災害への備えを考える力が備わったか。 【学びに向かう力、人間性等】気象災害や自然災害を自分の問題として自覚化し得たか。 ○ ○ ○ 8
			○ ○ ○ 1 合計 78

年間授業計画 様式

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組~ C 組

教科担当者: 福地

使用教科書: (新 高校の数学A (数研出版))

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1 学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 集合	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共通部分、和集合、空集合、全集合、補集合など集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。 ○【学びに向かう力、人間性等】 ○集合の考えについて興味をもち、いろいろな集合を表そうとする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
		2. 集合の要素の個数	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集合の要素の個数を、数え上げることで求めることができる。 ○補集合や和集合の要素の個数の公式を理解し、それらを用いて要素の個数を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ものを数え上げるのに集合を利用して考察することができる。 ○ベン図を利用して集合を図示することで、補集合や和集合の要素の個数を考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ベン図や公式を利用することで、集合の要素の個数を数学的に数えようとする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
		3. 和の法則と積の法則	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○樹形図を用いたり順序だて並べたりすることで、場合の数をもれなく重複なく数えることができる。 ○和の法則や積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○和の法則を、表を利用してすることで、また積の法則を、樹形図の特別な場合として考察することで見いだすことができる。 ○【学びに向かう力、人間性等】 ○場合の数を求めるのに、効率的に考えることができる法則（和の法則・積の法則）があることに興味をもち、使いこなそうとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
	定期考查			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
		4. 順列	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○順列の意味を理解し、公式を利用することができます。 ○簡単な場合の数を、順列の考え方を利用して求めることができます。 ○すべてを取った順列の総数から得られる階乗とその記号を理解し、これを活用できる。 ○様々な場合の数を、順列、円順列、重複順列に帰着させて求めることができます。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どうりあう場合の順列のような、特殊な条件が付く順列を見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができます。 ○既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができます。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な場合の数を求めるのに、順列の考え方を使えることに興味・関心をもつ。 ○順列、円順列、重複順列の違いを見い出そうとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6

		5. 組合せ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組合せの意味を理解し、公式を利用することができます。 ○簡単な場合の数を、組合せの考え方を利用して求めることができます。 ○組合せの性質を理解し、公式を利用することができます。 ○様々な場合の数を、組合せの考え方を利用して求めることができます。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組合せの総数と順列の総数の関係を理解し、順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができます。 ○特殊な条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができます。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○順列と組合せの違いや、様々な場合の数を求めるのに、組合せの考え方方が使えることに興味・関心をもつ。 ○組合せの考え方を利用して、図形の個数や遠回りをしない道順などの具体的な事象の場合の数を求めようとする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6
	第2節 確率 確率の意味と確率を求めるときの基本的な法則や考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 事象と確率	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行の結果としての事象を集合として表すことができる。 ○確率の定義を理解し、簡単な確率を求めることができる。 ○確率の性質を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考察することができます。 ○ものごとの起こりやすさを、同様に確からしいという概念をもとに数量的に考察することができます。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さいころを何回も投げる実験において、ある目が出る割合が一定の値に近づくことに興味をもち、その値の求め方を考えようとする。 ○ものごとの起こりやすさを、数値を使って計算で求めようとする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
	定期考查			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
2 学期		2. 確率の計算	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表や組合せの考え方を活用して、確率を求めることができる。 ○排反事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ○余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○排反事象や余事象の確率などを利用して、複雑な事象の確率を考察することができます。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでに学んだ確率の性質を利用して、いろいろな場合の確率を意欲的に求めようとする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6
		3. 独立な試行と確率	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行が独立か、独立でないかを判断することができます。 ○独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができます。 ○反復試行の確率を、公式を用いて求めることができます。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。 ○反復試行の意味を理解し、確率の求め方を組合せの考え方と関連付けて考察することができます。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独立な試行の確率や反復試行の確率について、興味をもって求めようとする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
		4. 条件つき確率	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条件つき確率の定義を理解し、確率を求めることができる。 ○確率の乗法定理を理解し、確率を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確率の乗法定理を利用してことで、くじを引くときの順番には当たる確率は関係がないことを理解し、説明することができます。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条件つき確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、活用しようとする。 ○確率の乗法定理を活用して、「くじを引く順番と確率」といった身近な確率の問題解決に積極的に取り組もうとする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4
		5. 期待値	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期待値について理解し、いろいろな場合の期待値を求めることができる。 ○損得判断をするときに、期待値を判断材料の1つとして利用することができます。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期待値を、確率の考え方に基づいて考察することができます。 ○損得を考える際に、期待値をどのように活用すればよいかを判断し、説明することができます。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○賞金や得点などの期待を、客観的な数値で表すことに興味をもち、期待値を求め、考察しようとする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3

定期考査					
第2章 図形の性質 第1節 平面图形 平面图形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 図形の基本	<p>【知識・技能】 ○図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○角の大きさや辺の長さを求めるのに、図形のどの基本性質を使えばよいかが判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○图形の基本的な性質について既に学んだ事項を思い出し、それらを活用できる場面を見いだそうとしている。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>		1
	2. 角の二等分線と線分の比	<p>【知識・技能】 ○角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いて辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○角の二等分線と線分の比の定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○外角の二等分線についても内角の場合と同様の定理が成り立つことに興味をもつ。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>		2
	3. 三角形の外心・内心・重心	<p>【知識・技能】 ○三角形の外心・内心・重心の定義とその性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の外心・内心・重心の性質を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ○三角形の外心・内心・重心に関する性質に興味をもち、考察しようとする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>		4
	4. 円周角の定理	<p>【知識・技能】 ○弧、弦、円周角、中心角など円に関する用語を理解している。 ○円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○中学校で学んだ円周角の定理とその逆を思い出し、それらを活用しようとしている。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>		2
	5. 円に内接する四角形	<p>【知識・技能】 ○円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円に内接する四角形の性質やその逆を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 ○四角形が円に内接する条件について、対角に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○四角形が円に内接する条件に興味をもち、考察しようとする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>		2
	6. 円の接線	<p>【知識・技能】 ○接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 ○円の接線の長さが等しいことを理解し、辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円と直線を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。 ○接線と弦のつくる角の性質を証明する際に、場合分けをしながら考察することができる。 ○円の接線の長さが等しいことを証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○円の接線にはいろいろな性質があることを知り、それぞれの性質と活用法について興味をもつ。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>		2
定期考査					1
3 学期		7. 方べきの定理	<p>【知識・技能】 ○方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○方べきの定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○相似を利用した方べきの定理の導き方に興味をもつ。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	3
		8. 2つの円	<p>【知識・技能】 ○2つの円の位置関係には5つのパターンがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ○5つの円の位置関係を、動的な視点によって観察・分類することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○2つの円の位置関係について、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	2
		9. 作図	<p>【知識・技能】 ○中学校で学んだ基本的な作図を行うことができる。 ○円の接線を、基本的な作図の組み合わせによって描くことができる。 【思考・判断・表現】 ○さまざまな图形を、基本的な作図の組合せによって描くことができることを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○コンパスと定規を使って作図に積極的に取り組もうとする。 ○作図に対して、なぜそれが正しいか考え、説明しようとする態度がある。</p>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	5

第2節 空間图形 空間图形の性質についての理解を深め、それらを観察したり考察したりすることで、空間認識力の育成を図る。	1. 空間の直線、平面	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2直線の関係、直線と平面の関係、2平面の関係には3種類ないしは2種類あることを理解し、それらの位置関係を示すことができる。 ○2直線のなす角、直線と平面の垂直条件、2平面の位置関係について理解し、角の大きさやそれらの関係性を求めるすることができます。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直線と平面が垂直になるための条件を、本を立てたときの状態に当てはめるなど具体的な事例によって考察するすることができます。 ○直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、立方体を例として考察するすることができます。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直線や平面の位置関係にはさまざまな状態があることに興味をもち、それらの性質を理解しようとする。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
	2. 正多面体	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多面体や正多面体の定義を理解し、それらの頂点、辺、面の数を求めることができる。 ○正多面体の特徴を理解し、正多面体が5種類のみであることを知っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多面体の頂点、辺、面の数に関して成り立つ性質を具体的な例によって確認し、説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多面体に関して成り立つ性質について興味をもち、その性質を確認しようとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3
	3. 立体の切断	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立体を平面で切り取ったときの切り口の形や切り取られてできる立体について、どのような形状になるかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立体の切り取り方によって切り口の形が異なることや、そのときの切り口の特徴について説明することができます。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立体の切り口の形がどのようになるのかについて興味をもち、その特徴を見つけ出そうとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
定期考查			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
						合計 78

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

理科

科目 生物基礎

教科: 理科

科目: 生物基礎

単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 A組~C組

教科担当者: (A組: 塚原) (C組: 塚原)

使用教科書: (/版生物基礎【啓林館】)

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1 学 期	現存する多様な生物には共通性があり、その共通性は共通の起源をもつことに由来することがわかる。細胞が基本単位であることがわかる。	第1部生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・生物の進化と系統 ・真核細胞の構造 ・原核細胞の構造	【知識・技能】 生物群の系統樹上で類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる。細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点をつかむ。 (提出課題、定期考查) 【思考・判断・表現】 生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が單一の共通祖先に由来する考え方があることができる。細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。 (提出課題、定期考查) 【学びに向かう力、人間性等】 多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。細胞小器官の特徴と働きに注目する。 (行動観察、提出課題)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	12
	定期考查			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
	生命活動に必要なエネルギーとATPについてわかる。光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくれられ、呼吸によって有機物からエネルギーが取り出されることがわかる。	第1部生物の特徴 ・生命活動とエネルギー ・ATPの構造 ・生体内の化学反応と酵素 ・光合成と呼吸	【知識・技能】 ATPが果たす役割について理解する。酵素反応の特徴を理解できる。光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。 (提出課題、定期考查) 【思考・判断・表現】 代謝におけるエネルギーについて考えることができます。酵素の働きについて考えることができます。細胞内の光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができます。 (提出課題、定期考查) 【学びに向かう力、人間性等】 生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。ATPとエネルギーの移動、酵素の役割について関心を持つ。光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができます。 (行動観察、提出課題)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	13
	定期考查			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
2 学 期	DNAが塩基の相補性に依存して二重らせん構造をもち、塩基の配列が遺伝情報となることがわかる。体細胞分裂では、分裂前に母細胞のDNAと同じ塩基配列のDNAが作られることがわかる。転写と翻訳における塩基配列からアミノ酸配列への情報の流れがわかる。また、タンパク質が酵素として働くことで、生命現象を支えていることがわかる。	第2部遺伝子とその働き ・DNAの構造と遺伝情報 ・DNA複製 ・転写と翻訳	【知識・技能】 DNAの二重らせん構造と塩基の相補性の重要性が理解できる。転写と翻訳の過程を理解し、遺伝情報が記されたmRNAの役割を理解することができます。タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができます。 (提出課題、定期考查) 【思考・判断・表現】 DNAの二重らせん構造における塩基配列と遺伝情報をとると考えることができます。母細胞のDNAの複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。遺伝情報である塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができます。 (提出課題、定期考查) 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること、DNAの特徴について関心をもち考えようとする。RNAとタンパク質の構造、および転写・翻訳のしくみに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも関心を持つ。 (行動観察、提出課題)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	15
	定期考查			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
	病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を守るしくみがわかる。非特異的な自然免疫の反応がわかる。体液性免疫と細胞性免疫のそれぞれのしくみがわかる。免疫が実際の病気とどのように関わっているのかがわかる。	第3部ヒトの体の調節 ・生体防御の概要 ・自然免疫のしくみ ・獲得免疫のしくみ ・免疫と病気	【知識・技能】 生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。生体に異物が侵入してから起る経過を体液性免疫と細胞性免疫において理解する。予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。 (提出課題、定期考查) 【思考・判断・表現】 自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができます。体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。 (提出課題、定期考查) 【学びに向かう力、人間性等】 免疫のしくみに関心を持つ。予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。 (行動観察、提出課題)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	16
	定期考查			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1

3 学 期	多様な植生が成立する要因には植物の環境への適応が関わっていることがわかる。陸上の植生が移り変わっていくこととその要因がわかる。 気温と降水量の違いによって、地球上ではさまざまなバイオームが成立していることがわかる。 生態系の成り立ちとバランスについて理解する。	第4部生物の多様性と生態系 ・環境と生物 ・遷移の過程 ・遷移と世界のバイオーム ・生態系における生物の役割 ・種の多様性と食物連鎖 ・生態系と生態ピラミッド ・生態系のバランスと変動	【知識・技能】土壤にすむ動物を観察することができる。生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 （提出課題、定期考查） 【思考・判断・表現】生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。生態系のバランスについて考えることができる。外来生物の影響について考えることができる。 （提出課題、定期考查） 【学びに向かう力、人間性等】生態系をどのように把握できるか関心を持っている。生態系に与える人間生活の影響について関心をもっている。 （行動観察、提出課題）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	17
	定期考查			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1

年間授業計画 新様式例

足立 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育

単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 A組・C組

教科担当者: (A組: 澤野、北川、益田) (C組: 澤野、北川、益田)

使用教科書: (大修館 現代高等保健体育)

教科 保健体育

の目標:

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
			○	○	○	
球技(ゴルト型・バスケットボール) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自動的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようになる。	①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤バスケットを出した後に次のバスを受ける動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。	【知識・技能】①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるよう、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	12
実技テスト			○	○	○	2
球技(ネット型・バドミントン) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自動的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようになる。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるよう、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	12
実技テスト			○	○	○	2

1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・卓球) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自動的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしていること、作戦などについての話し合いで貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしていること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようになる。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○ ○ ○ 12
	実技テスト		○ ○ ○ 2	
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・卓球) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自動的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしていること、作戦などについての話し合いで貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしていること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようになる。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○ ○ ○ 12
	実技テスト		○ ○ ○ 2	
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ゴール型・アルティメット) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前の侵入などから攻防をすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自動的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとしていること、作戦などについての話し合いで貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしていること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようになる。	①エンドゾーン内にバスをコントロールすること。②味方が操作しやすいバスを送ること。③守備者とディスクの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤バスを出した後に次のバスを受ける動きをすること。⑥ゴールとディスク保持者を結んだ直線上で守ること。	【知識・技能】①アルティメットの技術や戦術、作戦の名称とそれを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したディスク操作やエンドゾーン前での攻防を展開するためのディスク操作と空間に走りこむなどの動きをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○ ○ ○ 9
	実技テスト		○ ○ ○ 2	

1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・テニス) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自動的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話し合いで貢献しようすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようになる。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやブレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○ ○ ○ 9
	実技テスト		○ ○ ○ 2	
				合計 78

年間授業計画 新様式例

足立 高等学校 令和7年度（3学年用）教科

教 科： 保健体育 科 目： ステップアップスポーツ

対象学年組：第3学年 A組 C組

教科担当者：（A組：澤野、北川）

(C組：澤野、北川)

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標

卷六二

種の運動の

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するところにつけるようとする。

【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある社会をめざすことをめざす。

【字ひに向かう力、人間性等】 ある生活を営む態度を養う。

【知識及ば抜台】

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向けた、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようととするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・卓球) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようとする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようとする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自ら取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようとする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名前とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を練ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】①分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○ ○ ○ 16
	実技テスト		○ ○ ○ 2	
				合計 78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ
対象学年組： 第3学年 A組、 C組
教科担当者： （新野・伊藤）
使用教科書： （三省堂 Vista English Communication II
教科 外国語（英語） の目標：

外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

単位数： 2 単位

【知識及び技能】 外国語特有の音声・アクセントや語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。これらの知識を、聞く、読む、話す、書くことに用いて実際のコミュニケーションの場面で目的や状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背後にある文化に対する理解を深める。聞き手、読み手、話し手、書き手に伝えようとして主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国语の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国语で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国语の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に、自律的に外国语を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	学	配当時数
		聞	読	話〔や〕	話〔発〕					
LESSON 1 World Dance Performances 【知識及び技能】 動詞+目的語+to 不定詞、疑問詞+to 不定詞を使用できるようにする。文法を理解し、文の構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 動詞+目的語+to 不定詞や疑問詞+to 不定詞を用いて意図や疑問に思うことを伝えられるように、自分自身の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に各国の伝統舞踊についてその違いや文化との結びつきについて考える。	・指導事項 ○動詞+目的語+to 不定詞の理解、用法 ・同じ言い方に用いられる動詞 ○名詞句（疑問詞+to 不定詞）同じ言い方に用いられる疑問詞	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	LESSON 1 World Dance Performances 【知識及び技能】 動詞+目的語+to 不定詞、疑問詞+to 不定詞を使用できる。文法を理解し、文の構造を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 動詞+目的語+to 不定詞や疑問詞+to 不定詞を用いて意図や疑問に思うことを伝えられるように、自分自身の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に各国の伝統舞踊についてその違いや文化との結びつきについて考えようとしている。	○	○	○	13
LESSON 2 A Piece of Cake 【知識及び技能】 疑問詞で始まる節を用いて使用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 基本パターンを用いながら、自分自身の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 英語と日本語の慣用句について考え、主体的に自分の考えを発信する。また周りの生徒は発表者の意見や考え方を共有する。 定期考査	・指導事項 ○when + 主語 + 動詞の形の疑問詞で始まる節を理解 ○基本フレーズを用いた自分で作った文章に関する発表	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	LESSON 2 A Piece of Cake 【知識及び技能】 疑問詞で始まる節を用いて使用し、文を作れるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 語彙力を身に付け、自分で文を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 英語と日本語の慣用句について考え、主体的に自分の考えを発表できたか。周りの考えを聞くことができたか。	○	○	○	13
LESSON 3 Quokka 【知識及び技能】 使役動詞の理解やその受け身への書き換えができるようにする。 ・知覚動詞の構文を理解し、使用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 let + 名詞 + 動詞の原形、see + 名詞 + 動詞の-ing形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に絶滅危惧種の動物を通して自然環境について考えさせる。また、生き物と自然環境についての他者の考えを受容する。 定期考査	・指導事項 ○知覚動詞の理解 ○使役動詞の理解	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	LESSON 3 Quokka 【知識及び技能】 使役動詞の理解やその受け身への書き換えができるようになる。 ・知覚動詞の構文を理解し、使用できるようになる。 ・使役動詞、知覚動詞を用いて、イラストの状況を描写し、相手に伝えられるように正しい構文で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 let + 名詞 + 動詞の原形、see + 名詞 + 動詞の-ing形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に絶滅危惧種の動物を通して自然環境について考えせる。また、生き物と自然環境についての他者の考えを受容する。	○	○	○	16
LESSON 4 Designing Stamps 【知識及び技能】 形式主語を用いた文の文法、形式目的語の文章の理解、使役動詞の復習 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語・形式目的語を用いた文章で、情報を得たり、相手に伝えられたりするようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 職業意識に気付き、切手デザイン文化について知る。 定期考査	・指導事項 ○It is ~ to doの理解（形式主語） ○think it ~ to do（形式目的語）	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	LESSON 4 Designing Stamps 【知識及び技能】 形式主語・形式目的語の文章の理解とこの文を用いた定例表現を学習する。 ・使役動詞の復習 【思考力、判断力、表現力等】 日本の切手についての情報を得たり、相手に簡単な英文を用いて情報を伝えられたりするようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の切手について紹介し感想を簡単に述べることができるか。	○	○	○	15
LESSON 5 Mont-Saint-Michel 【知識及び技能】 現在完了進行形を現在進行形、現在完了形の使い分けに注意させる。現在進行形と現在完了形の違いに注意させ、過去完了形、過去完了進行形の理解につなげる。 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて英文を理解し、考えを相手に伝えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に日本の世界遺産について学び、世界遺産の景観を守るために人々の取り組みを考える。 定期考査	・指導事項 ○have been doing の理解 ○had + 過去分詞	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	LESSON 5 Mont-Saint-Michel 【知識及び技能】 現在完了進行形を現在進行形、現在完了形の使い分けができるようになる。 ・過去完了形、過去完了進行形を用いた簡単な英文をつくることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界遺産「モン・サン・ミッシェルとその湾」についての情報を相手に伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に日本の世界遺産について学び、世界遺産の景観を守るために人々の取り組みを考える。	○	○	○	17

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（3学年用）教科 家庭科 科目 生活と文化

教 科： 家庭科 科 目： 生活と文化

单位数： 2 单位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：（A組： 柿沼 ）

使用教科書：（図説家庭基礎 実教出版

3

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】教科書の内容を理解し、実生活を向上させることができる。

【思考力、判断力、表現力等】家庭生活や社会の課題を様々な観点から考え、自分なりの価値観を築いていく。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的に参加し、家庭生活や社会の課題解決に活かそうとしている。

科目 生活と文化

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができる。	家庭生活や社会の課題を見つけ、解決しようとする。	家庭生活や社会について興味関心を持ち、よりよくするために学習する態度を身に付けていく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1 学 期	<p>5章 食生活をつくる 【知識及び技能】健康的な食生活をおくるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自身の食生活を分析し、課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】現在・将来の自身や家族にとっての食生活の課題を、より良くするために学習する態度を身につけていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・私たちの食生活と健康 ・5大栄養素 ・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食料自給率と食のグローバル化 ・食の未来と環境への取り組み ・食事摂取基準と食品群別摂取量のめやす ・献立作成 ・調理の基本 ・調理実習 ・準備・片付け・実習記録 - ・授業プリント・レポート 	<p>【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 ・プリント・レポートなどの内容</p> <p>【思考・判断・表現】食生活の課題を見つけ、真剣に取り組み、解決しようとしているかどうか。</p> <p>授業態度（授業準備・取組の様子・マナー）</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】食生活の課題について興味関心を持ち、協力して、安全・衛生・効率を考えて作業ができたかどうか。</p> <p>授業態度（授業準備・取組の様子・マナー）</p> <p>プリント・レポートなどの提出状況</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	27
2 学 期	<p>6章 衣生活をつくる 【知識及び技能】健康的な衣生活をおくるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自身の衣生活を分析し、課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の現在の衣生活をふりかえり将来に向けてより良い生活を創造するために積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・人と衣服とのかかわり ・衣服の機能 ・衣服の手入れ ・作品の制作 - 準備・片付け・実習記録 - ・教材 ・作品キット ・授業プリント・レポート 	<p>【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 製作品の完成度（努力点も含む） ・プリント・レポートなどの内容</p> <p>【思考・判断・表現】衣生活の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。</p> <p>授業態度（授業準備・取組の様子・マナー）</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】衣生活の課題について興味関心を持ち、協力して、安全・衛生・効率を考えて作業ができたかどうか。</p> <p>授業態度（授業準備・取組の様子・マナー）</p> <p>提出状況</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	33
3 学 期	<p>2章 子どもとかかわる 【知識及び技能】健康で充実した生活を支えるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自らの生活や社会の課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の現在の生活をふりかえり将来に向けてより良い生活を創造するために積極的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・子どもの誕生と発達 ・子どもの生活とあそび ・健やかに育つ環境と支援 ・子どもを守る法律・制度 ・授業プリントの記入 ・課題解決をし、レポートにまとめる。 	<p>【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 ・プリント・レポートなどの内容</p> <p>【思考・判断・表現】家庭生活や社会の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】家庭生活や社会課題について興味関心を持ち、より良くするために学習する態度を身につけているかどうか。</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	17

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

教科：芸術 科目：ソルフェージュと鑑賞研究

芸術 科目 ソルフェージュと鑑賞研究

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～

教科担当者：(A組：菅原)

使用教科書：()

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現をしたり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

科目 ソルフェージュと鑑賞研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現するための技能として、まず楽譜を読む力を養い、その知識を具体的に表現できる力を身につける。	より良い表現・自分がやりたい表現をめざして試行錯誤する中で他人の表現を鑑賞したり修正したりしながら自分の表現を完成させていく。	今までの自分の愛好する音楽だけではなく、自分の中の引き出しを増やし、いろいろな種類の音楽に興味を持てるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	学	配当時数
			歌	器	創					
1学 期	A 歌唱 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て歌う。 【思考力、判断力、表現力等】強弱・歌詞の意味に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に取り組むことができる。	・齊唱 ホールニューワールド 負けないで 等 ・一人一人の距離を取りながら自信をもってはっきりと声を出す。	○		○	A 歌唱 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】強弱・歌詞の意味に注目しながら歌唱しているか。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	B 器楽 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て弾く。 【思考力、判断力、表現力等】強弱・指の使い方に気をつける。 【学びに向かう力、人間性等】クラスメイトの表現を鑑賞する。	・ギーボードの演奏 ・教材 瞳を閉じて 他 ・音符を読んでメロディーを演奏する。 ・伴奏と合わせる。	○		○	B 器楽 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て弾いているか。 【思考力、判断力、表現力等】強弱・指の使い方を工夫しているか。 【学びに向かう力、人間性等】クラスメイトの表現をmajimeに鑑賞できるか。	○	○	○	11
	C 楽典 【知識及び技能】音符の長さや高さを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】譜面を読み解く力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に取り組むことができる。	・読み説明 音符の高さ・長さを理解する。リズムを理解し、自分で創作する。 ・教材 プリント DVD教材		○		C 楽典 【知識及び技能】音符の長さや高さを理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】譜面を読み解く力がついたか。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	8
2学 期	A 歌唱 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て歌う。 【思考力、判断力、表現力等】強弱・歌詞の意味に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に取り組むことができる。	・合唱 この道 島唄 ひこうき曇 等 ・一人一人の距離を取りながら自信をもってはっきりと声を出す。他のパートの声を聴きながら歌う。	○		○	A 歌唱 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】強弱・歌詞の意味に注目しながら歌唱しているか。また、他パートの声を聞いているか。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	15
	B 器楽 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て弾く。 【思考力、判断力、表現力等】指の使い方に気をつける。 【学びに向かう力、人間性等】クラスメイトの表現を鑑賞する。	・吹奏楽器の演奏 ・教材 喜びの歌 いつも何度も 他 ・音符を読んでメロディーを演奏する。 ・伴奏と合わせる。 ・自分なりのアレンジを加える。	○	○	○	B 器楽 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て弾いているか。 【思考力、判断力、表現力等】指の使い方を工夫しているか。 【学びに向かう力、人間性等】クラスメイトの表現をmajimeに鑑賞できるか。	○	○	○	18
3学 期	A 歌唱 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て歌う。 【思考力、判断力、表現力等】強弱・歌詞の意味に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に取り組むことができる。	・齊唱 いのちのうた メモリー 等 ・一人一人の距離を取りながら自信をもってはっきりと声を出す。	○		○	A 歌唱 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て歌っているか。 【思考力、判断力、表現力等】強弱・歌詞の意味に注目しながら歌唱しているか。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に取り組んでいるか。	○	○	○	7
	B 器楽 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見る。 【思考力、判断力、表現力等】人の音を聞きながら自分のタイミングを合わせる。 【学びに向かう力、人間性等】クラスメイトの表現を鑑賞する。	・マリンバ等の演奏 ・教材 ホールニューワールド 他 ・音符を読んで自分の音を演奏する。 ・伴奏と合わせる。	○		○	B 器楽 【知識及び技能】音符を読みながら楽譜を見て弾いているか。 【思考力、判断力、表現力等】伴奏とタイミングを合わせられるか。 【学びに向かう力、人間性等】クラスメイトの表現をmajimeに鑑賞できるか。	○	○	○	11 合計 78

年間授業計画 新様式

足立 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 芸術(美術)

教科：芸術(美術) 科目：造形表現と鑑賞

科目：造形表現と鑑賞

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：(A組：大塩)(組：)(組：)(組：)(組：)(組：)(組：)

使用教科書：()

教科 芸術(美術)

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 造形表現と鑑賞

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	学	配当時数
		絵 ・ 彫	デ ジ タル 化	映					
A 題材 オリジナルのロゴをつくろう(レタリング)	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 <ul style="list-style-type: none"> ○レタリングの練習（明朝体） ○ロゴのデザイン（色彩・形） 教材 ○鉛筆、消しゴム、ケント紙、参考作品、定規、アクリル絵具等 ・書画カメラ 	○			<p>【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し、主題を追求しあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14
B 題材 和の文様を生かしたレリーフをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 <ul style="list-style-type: none"> ○レリーフ（浮き彫り）の各技法の演習 ○レリーフのデザイン 教材 ○鉛筆、消しゴム、板、参考作品、下描き用紙、トレーシングペーパー、カーボン紙、彫刻刀など ・書画カメラ 	○		○	<p>【知識及び技能】 ・レリーフの各技法についての知識・理解を深めることができている。 ・和の文様についての知識・理解を深めている。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわすことができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。</p>	○	○	○	13

1
学
期

合計
78

年間授業計画 新様式例

足立 高等学校 令和7年度（3学年用）教科

教科： 芸術（書道） 科目： 生活の中の書道

対象学年組： 第3学年 A組

教科担当者： (A組：入山)

使用教科書： (光村図書 書I)

芸術 科目 生活の中の書道

単位数： 2 単位

教科 **書道I** の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目 **生活の中の書道** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わったり捉えたりすることができるようになる。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	学	配当時数
		漢	仮	鑑賞					
1 学期	A 書写から書道へ 【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 ・臨書・鑑賞・創作の理解 ・用具用材の理解 ・それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈	○	○	【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解できている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができている。 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができている。	○	○	○	6
	B 文字の造形を学ぶ【楷書】 【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけています。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書風の違いを理解させる。 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・頽氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて ・牛橛造像記 ・鄭羲下碑 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品	○	○	【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。	○	○	○	10
	C 古典を生かした創作 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○指導事項 楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、字書	○	○	【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫してきた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○	○	○	11

2 学 期	D 文字の造形を学ぶ【行書】【草書】【隸書】【篆書】 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・行書・草書・隸書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。・行書・草書・隸書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・行書・草書・隸書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書体の違いを理解させる。 【行書】 <ul style="list-style-type: none">・蘭亭序・風信帖・三筆・三跡について 【草書】 <ul style="list-style-type: none">・真草千字文 【隸書】 <ul style="list-style-type: none">・曹全碑 【篆書】 <ul style="list-style-type: none">・泰山刻石 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品	○	○	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・行書・草書・隸書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。・行書・草書・隸書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できる。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・行書・草書・隸書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。	○ ○ ○ 33
	E 漢字仮名交じりの書を学ぶ 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 <ul style="list-style-type: none">・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 ・参考作品の臨書 ・創作 ○教材 小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品	○	○	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を習得できている。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫できた。 <ul style="list-style-type: none">・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養うことができている。	○ ○ ○ 7
3 学 期	F 仮名の書を学ぶ 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけています。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 ・仮名の成立や種類 ・筆使い、平仮名、変体仮名、連綿について理解させる 書風の違いを理解させる。 ・蓬莱切 ・高野切第三種 ・三色紙 構成方法の理解 ・散らし書き ・行書き ○教材 小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品	○	○	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけています。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○ ○ ○ 7
	G 好きな言葉を書こう 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 創作 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品、字書	○	○	【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none">・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 <ul style="list-style-type: none">・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 <ul style="list-style-type: none">・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	4 ○ ○ ○ 合計 78

年間授業計画 様式

高等学校 令和7年度（3年）教科

教 科： 総合的な探究の時間 科 目： 人間と社会

対象学年組：第 3 学年 A 組～ C 組

教科担当者：（ A組・C組：上野・保倉・志賀・浅川 ）

使用教科書：（ 人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改定版教科書（増補版） ）

教科 総合的な学習の時間

の目標：

総合的な探究の時間 科目 人間と社会

単位数： 1 単位

【知 識 及 び 技 能】 ・広く道徳性を養い、社会の変化にいち早く対応し自ら課題を発見できるよう体系的に学習する。

【思考力、判断力、表現力等】 ・一人ひとりが自らの人生観、価値観を形成し他者との対話協働しながらよりよい解決策を生み出せるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 ・体験活動を通して主体的に選択し行動するからを育成する。

科目 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分と地域社会のつながりを意識できるよう、社会貢献について理解を深める。	教科書での学習内容を踏まえた体験活動を通して、選択・行動する資質・能力を高める。	主体的・協働的・対話的に取り組むことによって、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深める。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時数
1 学 期	A 単元 1. 人間関係を築く 【知識及び技能】 自分と地域社会のつながりを意識する 【思考力、判断力、表現力等】 活動を通して考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己理解を深め人間としての在り方を考える。	・指導事項 ○相互理解 ○思いやり ○人間関係形成能力 ・教材 ○教科書等 ○地域清掃（体験）	【知識・技能】 学習内容と身につく力を理解したか。 【思考・判断・表現】 新たな気づきについてどう考え、まとめたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ペア・グループで協働したか。	○	○	○	3
	B 単元 2. 学ぶことの意義・3. 働くことの意義 【知識及び技能】 社会貢献について知識を深める 【思考力、判断力、表現力等】 活動を通して考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己理解をし、課題解決力をつけれる。	・指導事項 ○理解 ○奉仕 ○勤労 ・教材 ○教科書等 ○地域清掃活動（体験）	【知識・技能】 学習内容と身につく力を理解したか。 【思考・判断・表現】 新たな気づきについてどう考え、まとめたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ペア・グループで協働したか。	○	○	○	3
	定期考查	実施せず	実施せず				
	C 単元 4. 役割と責任・5. マナーとルール 【知識及び技能】 自分の役割を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 体験を通して学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自己理解を深め人間としての在り方を考える。	・指導事項 ○キャリアプランニング力 ○勤労奉仕 ○尊さ ・教材 ○教科書等 ○防災体験・水害（体験）	【知識・技能】 学習内容と身につく力を理解したか。 【思考・判断・表現】 新たな気づきについてどう考え、まとめたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ペア・グループで協働したか。	○	○	○	3
	D 単元 7. 選択し行動する・8. チームを動かす力 【知識及び技能】 自分と社会のつながりを意識する。 【思考力、判断力、表現力等】 選択し行動する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の置かれている状況を踏まえる。	・指導事項 ○報恩感謝 ○社会貢献 ○社会形成能力 ・教材 ○教科書等	【知識・技能】 学習内容と身につく力を理解したか。 【思考・判断・表現】 新たな気づきについてどう考え、まとめたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ペア・グループで協働したか。	○	○	○	4
	定期考查	実施せず	実施せず				
2 学 期	12. 支え合う社会 【知識及び技能】 自分と社会のつながりを意識する。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら主体的に動く力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の置かれている状況を踏まえる。	・指導事項 ○相互関係理解 ○課題解決能力 ○人間関係形成能力 ・教材 ○教科書等 ○防災体験 首都直下（体験）	【知識・技能】 学習内容と身につく力を理解したか。 【思考・判断・表現】 新たな気づきについてどう考え、まとめたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ペア・グループで協働したか。	○	○	○	9
	13. 地域社会を築く 【知識及び技能】 自分と社会のつながりを意識する。 【思考力、判断力、表現力等】 選択し行動する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な他者と協力する。	・指導事項 ○相互理解 ○思いやり ○人間関係形成能力 ・教材 ○教科書等 ○勤労見学体験	【知識・技能】 学習内容と身につく力を理解したか。 【思考・判断・表現】 新たな気づきについてどう考え、まとめたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ペア・グループで協働したか。	○	○	○	8
3 学 期	14. 自然と人間の関わり 【知識及び技能】 社会とのかかわりあいの中で生きる。 【思考力、判断力、表現力等】 選択し行動する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の考え方を尊重し成年としての自覚につなげる。	・指導事項 ○社会参画 ○思いやりの心 ○社会関係形成 ・教材 ○教科書等 ○地域清掃活動（体験）	【知識・技能】 学習内容と身につく力を理解したか。 【思考・判断・表現】 新たな気づきについてどう考え、まとめたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ペア・グループで協働したか。	○	○	○	5
	15. 文化の多様性・17. グローバルが進展する社会 【知識及び技能】 自分と社会のつながりを意識する。 【思考力、判断力、表現力等】 他の考え方や価値観に触れる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の意見を尊重しながらじっくり活動する。	・指導事項 ○自己管理能力 ○奉仕 ○尊さ ・教材 ○教科書等	【知識・技能】 学習内容と身につく力を理解したか。 【思考・判断・表現】 新たな気づきについてどう考え、まとめたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ペア・グループで協働したか。	○	○	○	4

合計

39